

3月～4月の りた

時 開催時間 所 開催場所
 ¥ 参加費用 定 定員（選定方法）
 対 参加対象 申 参加方法
 持 持ち物 該当テーマ

なごみん 66-8251

4/17 **なごみんフェスタ
2016**

年に一度の市民活動の祭典。体験・ステージ発表・展示・バザー等を通して、様々な活動団体に会えます。

時 9:30～16:00
 所 なごみん 全館
 ¥ 無料（一部有料）
 申 直接なごみんにお越しください。
 ※駐車場が少ないため、乗り合わせや、公共交通機関でお越しください。

やはぎかん 33-3665

3/6 **やはぎかん
8周年春まつり**

発表や体験・展示、販売を通して、参加団体の活動を広く知っていただき、新しい活動や仲間を見つける機会になればと思います。

時 10:00～16:00
 所 やはぎかん 全館

¥ 無料（一部有料）
 申 直接やはぎかんにお越しください。

まち育て推進チーム 23-2888

3/12 **岡崎百景候補
お披露目会**

岡崎のそこかしこに潜むとっておきの「私とまちのドラマ」を集めた岡崎百景の候補をお披露目します。（5月以降に市内各地で実施する展示会で百景に絞り込む市民投票を行います。）

時 13:30～16:30 ¥ 無料
 定 100名（当日先着順）
 所 岡崎市福祉会館 6F ホール
 （岡崎市朝日町3-2）
 申 直接会場にお越しください。

特集： まち育てスクール開講 ～協働は こうして起こせ～

まちづくりの担い手として「協働」実践者を育てるべく、協働ノウハウが学べる「まち育てスクール」を連続コース、単独コース各3回、計6回にわたって開講しました。連続コース第1回では協働事例から「協働の秘訣」を学ぶことで協働のイメージを膨らませ、第2回目ではワールドカフェ形式のサロンで自分が叶えたい夢に必要な協働相手は誰なのかを考えていただきました。そして連続コースの完結編となる今回は協働相手へのアプローチの実践ということで、キットに沿って論点を整理しつつ、受講者のみなさんに協働相手にラブレターを贈る気持ちで実際の協働プランを考えていただきました。今号では協働ラブレターキットを公開します。協働プラン作成にぜひ、ご活用ください。



▲ 協働プランを考える受講者のみなさん。キットや共に学ぶ仲間からのアドバイスによって、さまざまな協働プランが誕生した。

pick up

「おとがわプロジェクト」今年度を締めくくるフォーラムを開催！

グランドデザインフォーラム

2016年3月6日[日] 19:00-21:00

| 場 所 | 図書館交流プラザリぶらホール
 | 参加費 | 無 料 | 定 員 | 200名（申込み不要・先着順）

一部——グランドデザイン [まちづくり基本構想] の発表
 二部——パネルディスカッション

パネリスト：内田康宏氏、藤村龍至氏、泉英明氏

7月に開催されたキックオフフォーラムから積み重ねてきた乙川リバーフロント地区の特性や課題に関する議論を踏まえ、私たちが望む将来像に向けて、すでに動き始めている先導的事業と、これから私たちがすべきこと、大切にすべき理念などを盛り込んだ「乙川リバーフロント地区グランドデザイン(まちづくり基本構想)」を発表します。

今年度、おとがわプロジェクトに関わられた専門家のお二人と内田市長をパネリストに迎え、これから市民と行政が一丸となって取り組むまちづくりのビジョンを明らかにします。

facebook「おとがわプロジェクト」で検索

特集： まち育てスクール開講 ～協働はこうして起こせ～

●第3回まち育てスクール「協働はこうして起こせ」編 概要



▲公園デザインワークショップの様子と、まとめあげられた公園デザイン

連続コース第3回目は、「りた」事務局次長の三矢勝司が講師を務め、協働を起こす際に必要なアプローチ術をお伝えしました。講師の三矢は大学院生だったころ、地元にある「奈良井公園」にて市内初となる市民参加公園デザインワークショップを市に提案した協働実践者です。地元住民とはいえ、名もない学生がこの住民参加型公園デザインプロジェクトを巻き起こしたそのプロセスを、協働相手へのアプローチのコンに焦点を絞ってご紹介します。

●プランなくして協働なし。

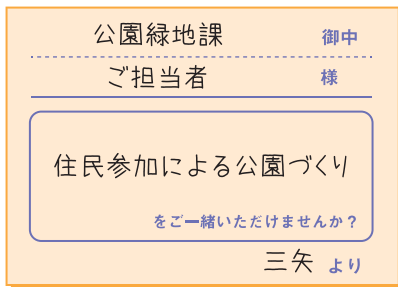
協働相手にアプローチするにあたっては、協働プランの作成が不可欠です。相手に対してわかりやすく「どうして協働してほしいのか」、「協力するとどのようなメリットがあるのか」、「具体的にどのような協力をお願いしたいのか」など、相手が欲しい情報を的確に提示しなければ、乗れる話も乗れなくなってしまいます。

●「協働相手に贈るラブレター」キット

プランニングに役立つキットと記入例を使って、スクール参加者に協働ラブレターを書いていただきました。ここでご紹介している例はスクールで実際に提示した、奈良井公園デザインプロジェクトの例です。みなさんもこの記入例を参考に、協働相手にラブレターを贈るような気持ちで書いてみてください。

- Point 1 事業の背景や思いを語り、共感を喚起しよう。
- Point 2 相手に求める「役割」、「メリット(こちら側が提供できる価値)」を明確に。
- Point 3 相手の具体的な「負担」を明確に。
※「それくらいなら協力してもいいな」と思わせよう。
- Point 4 協働後のビジョンを示し、相手の意欲を引き出そう。

実践！



1. 問題提起と夢の共有

Point 1
 僕らは、東京と千葉で住民参加型まちづくりを実践研究している学生(みたいな者)です。二人とも実家が竜美丘にあります。
 近所の奈良井公園を掘り返しているようですが、あれを埋め戻す際に、少し工夫すれば、丘をつくったりできますよね。
 例えば、近所の方々を集めて「住民参加による公園デザイン」をして、魅力的な奈良井公園にする、というのはどうでしょうか。

2. あなたに期待することは、

Point 2
 公園の改修計画に関するワークショップを主催してもらえませんか。

3. お互いのメリットは、

Point 2
 僕ら、そういった話し合い(ワークショップ)の企画運営だったらできます。(東京や千葉など、いくつかの実績があります)お金はいいりません。

4. こんな風に進めてみませんか？(展開プロセスの共有)

当面の動き

Point 3
 公園デザインワークショップは、通常、半年くらいかけて5、6回開催します。
 市民の方々と集いの前に、市の意向を把握、調整し、当日の資料準備などをします。

中長期展望

Point 4
 改修工事の最中から、または開園後には、公園を愛する会など、愛着をもって公園に関わってくれる方が生まれてくるといいなと思っています。

1月～2月のりた

なごみん 1/23



なごみん防災講座

～大災害!家での避難生活に必要なアレコレ～と題し、防災に限らず日常生活に役立つ情報を交え、自宅での避難生活に必要な知識や裏ワザを学びました。

なごみん 1/31



まち育てスクール「歴史と協働」

岩津まち歩き体験『家康公の先祖が岩津にいた!?』というタイトルで、講師に「おかざき塾歴史教室」主宰 市橋章男氏をお招きし、家康公の先祖松平信光にスポットをあてて、岩津の歴史を学びました。

よりなん 2/7



まち育てスクール「防災と協働」

鈴木盈宏氏による講演および上地学区の各地域組織代表をパネリストに迎えたパネルディスカッションを行い、会場と一体となって地域防災について学びました。

よりなん 2/19



上地学区老人クラブ交流会

上地学区老人クラブ連合会の活動報告で老人クラブの活動を知るとともに、介護についての講演や健康クイズなどで健康について学びました。

やはぎかん 2/21



避難訓練コンサート

キャッスル・ウィンド・オーケストラのみなさんに演奏協力していただき、コンサート中に地震が起きた場合を想定した避難訓練を行いました。

むらさきかん 1/16



絵手紙体験教室

むらさきかん館内の飾りつけボランティアをしてくださっている「絵手紙ふぁの会」のみなさんが講師となり、お内裏様とお雛様の顔を描いた絵手紙体験教室を開催しました。

むらさきかん 2/6



東部地域活動報告交流会

地元の中学・高校・大学の生徒や学生が取り組んでいる地域活動について発表会を開催し、互いの情報交換と交流を図りました。

悠紀の里 2/21



フレンドリーフェスタ in 悠紀

悠紀の里開館1周年を記念して、活動団体のステージ発表や体験ブース、物品や飲食の販売などを行いました。

市民活動センター 2/13



マッチングフェア in 第5回岡崎まち育てフェスタ

毎年公益活動を応援するイベントとして開催している「まちフェス」。今年はNPOがさらに活動を広げていくために、協働の輪を広げるための「マッチングフェア」を開催しました。

まち育て推進チーム 1/24



まちづくりワークショップ全体会③

「かわまちづくり」「にぎわい創出」「歴史・観光まちづくり」「人道橋・中央緑道・籠田公園」の4つのテーマ毎に、市民有志が2回のWSとテーマごとの分科会を経て練り上げた市民提案が発表されました。

まち育て推進チーム 2/12~14



リノベーションスクール@岡崎

3つのグループが籠田公園周辺の空き物件の活用事業計画を不動産オーナーに提案。3案件が実プロジェクト化に向けて始動しました。